

- トヨタ自動車、「ノア」・ダイハツOEM「メビウス」等計10車種について、一時的なパワー低下が発生する恐れがあるとしてリコール
ハイブリッドシステムにおいて、電力交換モジュール制御基板の電気ノイズ耐性不足により、高電圧回路の電圧変動で発生する電気ノイズを電源制御回路が異常と誤検知し瞬間的に停止する場合がある。そのため、電源電圧が一瞬低下して、エンジン警告灯の点灯とともに、一時的な動力損失が発生する恐れがある。
20年11月27日～21年4月14日に生産した2万4162台
- UDトラックス、「クオン」のプロペラシャフトセンターベアリング固定金具に不具合があるとしてリコール 17年6月6日～19年6月12日に生産した5994台
プロペラシャフトセンターベアリング固定金具の曲げ加工が不適切なため、プロペラシャフトの回転振動等により固定金具に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂の進行により固定金具が破断し、最悪の場合、プロペラシャフトが脱落して走行不能となる恐れがある。
- グループPSAジャパン、プジョー「3008」等計7車種のディーゼルモデルの排気ガス飛散防止装置に不具合があるとしてリコール
ディーゼルエンジンの粒子状物質浄化装置(DPF)にて、エンジンコントロールユニット(ECU)のプログラムが不適切なため、DPF内部の温度が想定より高温になることがある。そのため、内部のフィルターが熱影響により亀裂が発生することで、粒子状物質の浄化性能が低下し、排気ガス規制値を満足しなくなる恐れがある。
18年5月11日～20年8月6日に輸入した4476台
- 日産自動車、「ノート」のボディコントロールモジュールに不具合があるとしてリコール 20年11月12日～21年2月15日に生産した1万1317台
制御プログラムが不適切なため、ヘッドライトとフォグランプがともにオンでライトスイッチをスモール位置に操作した場合、ハイビームと同時に点灯すべきロービームが消灯し、保安基準第32条(前照灯の基準)を満足しない。
- 日産自動車、「ノート」のエンジンマウントブラケットに不具合があるとしてリコール 20年11月22日～21年3月10日に生産した2万7321台
取付方法が不適切なため、ボルトが緩むおそれがある。そのままの状態で使用を続けると、ボルトが破断することにより原動機が傾き、フロントサスペンションメンバーと干渉して異音が発生し、最悪の場合、ドライブシャフトが抜けて走行不能に至る恐れがある。
- いすゞ自動車、「ギガ」「フォワード」・UDトラックスOEM「コンドル」の駐車ブレーキに不具合があるとしてリコール
16年7月7日～19年11月8日に生産した4万3702台
修理で対象となる部品が組付けられた1205台、修理部品として出荷し、組付けられた車両が特定できない2584個も対象。
駐車ブレーキ用リレーバルブ内部の樹脂ピストンの材質が不適切なため、エア回路中の水分により加水分解して、ブレーキエア圧によりピストンが破損することがある。そのため、ブレーキバルブからのエア漏れや、駐車ブレーキの解除不能、ブレーキ引きずりが発生する恐れがある。
- いすゞ自動車、「ギア」「フォワード」・UDトラックスOEM「コンドル」のスピードメーターに不具合があるとしてリコール
スピードメーターの制御プログラムが不適切なため、プログラム起動時に特定条件でのキー操作をおこなうと、警告灯が点灯し、スピードメーター等が正しく作動しなくなる恐れがある。
19年1月28日～21年3月31日に生産した4万3429台
- ダイハツ、「タント」・トヨタOEM「ピクシスジョイ」・スバルOEM「プレオ」等計21車種の燃料ポンプでエンストの恐れがあるとしてリコール
17年7月3日～19年5月8日に生産した95万6221台
燃料ポンプのインペラ(樹脂製羽根車)の成形条件が不適切なため、樹脂密度が低くなって、燃料により潤滑して変形することがある。そのため、インペラがポンプケースと接触して燃料ポンプが作動不良となり、最悪の場合、走行中エンストに至る恐れがある。
- ダイハツ、「ハイゼット」・スバルOEM「サンバー」・トヨタOEM「ピクシスバン」等計7車種について、ハンドル操作ができなくなる恐れがあるとしてリコール
ステアリングギヤのブーツ取付け部のシールが不適切かつエアコンドレンホースが直上にあるため、エアコン凝縮水が取付け部に滴下しギヤ内部に侵入するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ギヤ内部に錆が生じて異音が発生。最悪の場合、ベアリングが破損し操舵ができなくなる恐れがある。
17年10月31日～19年7月31日に生産した16万0435台